





おい達夫
今日ウチ来て俺に勉強
教えるよ

え、あ…
きよ…今日は…



んま ここが俺の部屋だ



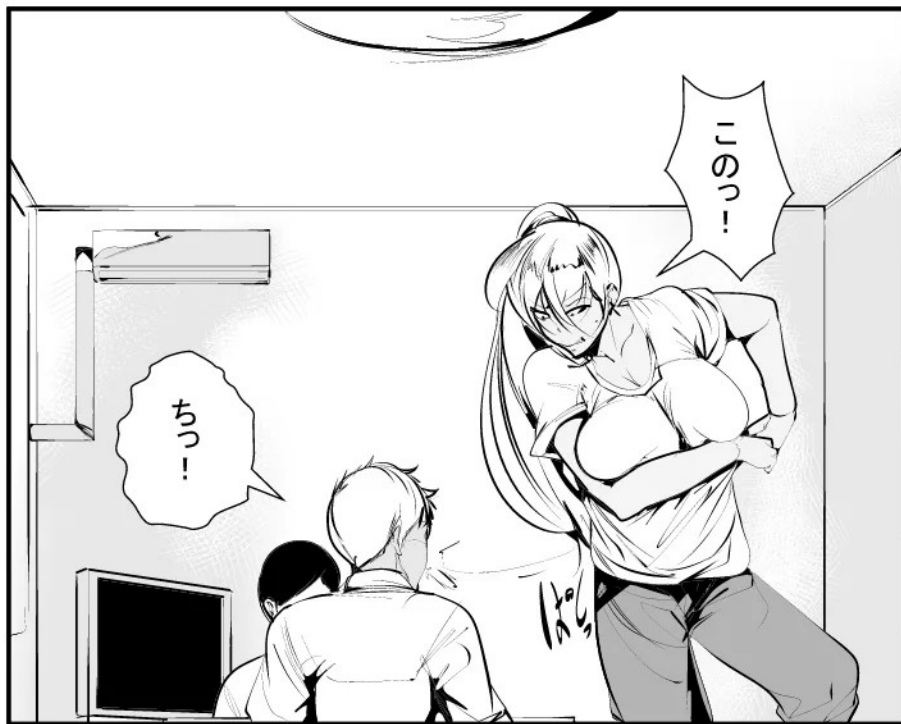
うるせんだよ
黙ってこいよ

う…うん



おら入れよ

…





う…うん

そんなじゃ勉強教えて
くれな



まあゆっくりしてってね

はあ…はは



あ…あつ

そんなじゃまた
よろしく頼むぜ



何を考えてるんだ
ボクは

って…いかんいかんっ



それにしても
篤志くんのお母さん…
なんか綺麗だったな…







い...いや、僕なんて

いや、いつもありがとうね
ウチのバカに勉強教えてもらって

ぽわろ

助かってるわ



ふあ



んんん



おあ…
やだっ



おわわっっ！



ぼろん



へっ



あ…いやすいません！
ぼ…僕は何も…その…



お礼がてらうつつつても
こんなお婆さんの体
嬉しくないか

いやさ…
いつつも篤志の勉強
見てもらってるし



ふふふ…



その…お婆さんは
すごい…綺麗な人だと
思います…ほんと

あ、た

ふた

嬉しくないだなんて…
そんなんっ



揉む？

それじゃさ…よかったら



そ…それじゃ
よ…よ…よかったらっ

え？あ？
ほんとに
いいんですか？



やっぱ…人に触れるの
気持ちいい…

このまま…

ふがう

!

ズン!

あは

あは
あは
あは

ほ

ほ

あくそだ
今度から篤志の勉強会
終わったらよりなよ

そ…そうですね
ありがとうございました

きよ…今日は
この辺に
しとこつか

あせ

あせ

そっちが
嫌じゃなかったら
その…



…それからというもの



今度からサービスしちゃうから♪

あ…ああ はい！
ありがとうございます…「ございます



おは



篤志くんとの
勉強会が
終わった後は…



あ
あ
あ

おばさんに思いつきり甘えるのが
ボクの日課になって…
最高に幸せな日々が続いた



おにん

おにん



えいっ





そんじゃ…



どうせ寝てるし…
起きないわよね…



おばさんの…
胸で…っ

達夫くん…
おちん○ん…
マツサージしてあげるっ

ごっ

おん

おん



そ...そりやもう
もちろん...っつ

んんん...っつ

どう...気持ちいい?

どう?
出したかったら
出していいのよ

くは...あ...

ぴゅぴゅぴゅっっ

ぢぢぢ

ちゅっ
ちゅっ!

おんん

おんん

んん

んん

んん

んん

んん

んん



うわっ

ぐわっ
ぐわっ
ぐわっ

出しちゃえ
出しちゃえ

ぶっぶっ

あ...ああはい
ほ...ほくそろそろっ



あ...あ

むおっ
まだこんなにつ

いやっ
いっぱい出たねっ

は...はあ...





ちよつと
ごめんね

おははは



あ...ありがとうございます
ごさいました

あ...あれ?



ちよつと
ごめんね

おははは
おははは



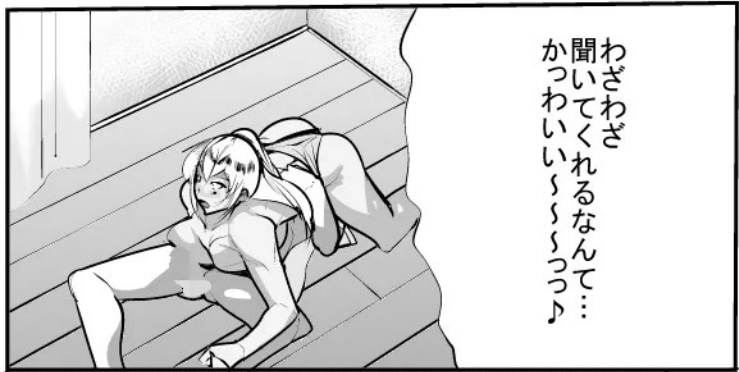
へへ...
一回だけじゃ
全然もの足りないでしょ

もうちよつと...
楽しみましょ...

おははは

おははは

おははは



お...おわわっ
すいません...っ俺

あんっ

んっ
んっ

あゝあはは...

いやゝ
2回目だけど
すんごい元気
だったねゝ

んっ...んっ



今度…
旅行でも…
とか？二人で？



あ…あのさ…その…

もし良かったら…



ほ…ホントですか
ホントなら
全然嬉しいです



ダメだったなら
その…いいけど



それじゃ
今度の週末！

え…あ
だ…大丈夫です！



しやあねえ
俺は俺で勉強頑張るか



つつは
いいゝ
たた



って言うってたけど
いいなあゝ

あたし
りよごついででぐっからゝ
留守番よろぴゝ



あのゝ予約してた大黒です

はい
お待ちして
おりましたゝ
大黒様ですなゝ



おゝ





ね

は…はい



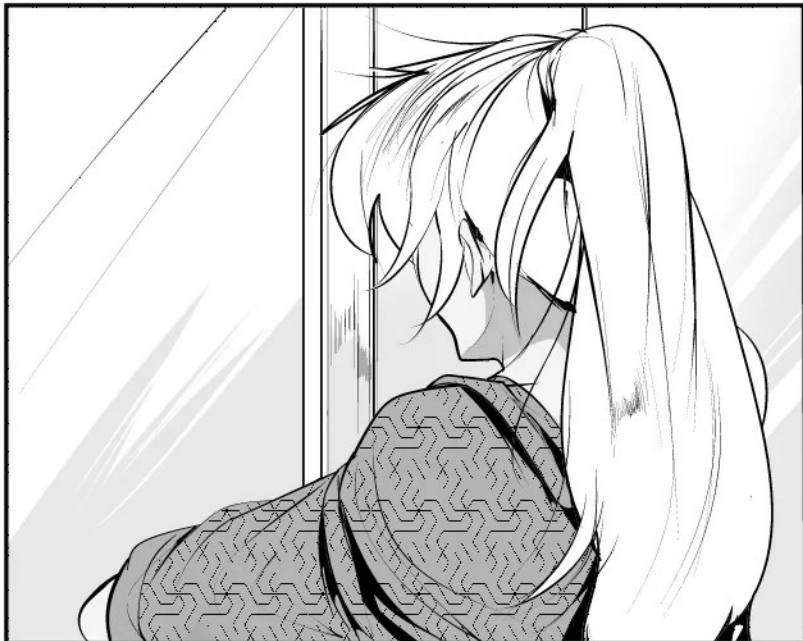
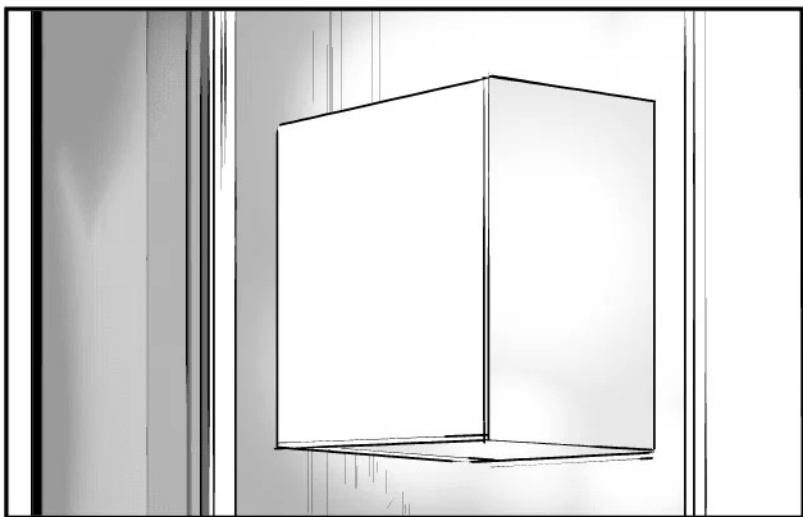
は…いい湯だわ

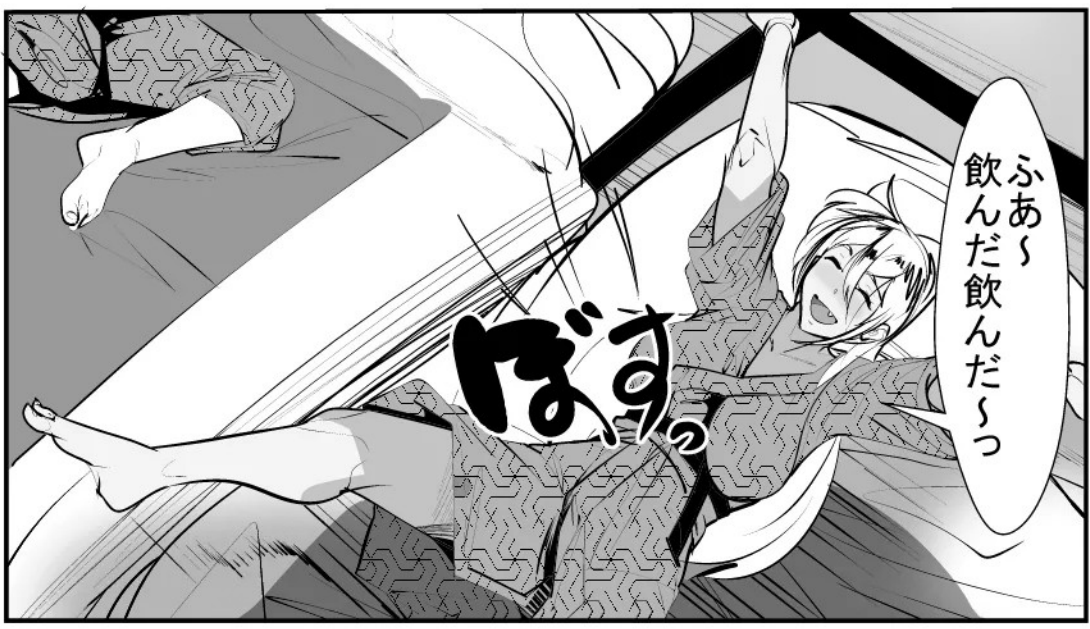


な…にを緊張してんのよ

そんなかしこまること
ないのに

あ…いやでも…その
いつものおばさんと
違って…その…綺麗で…



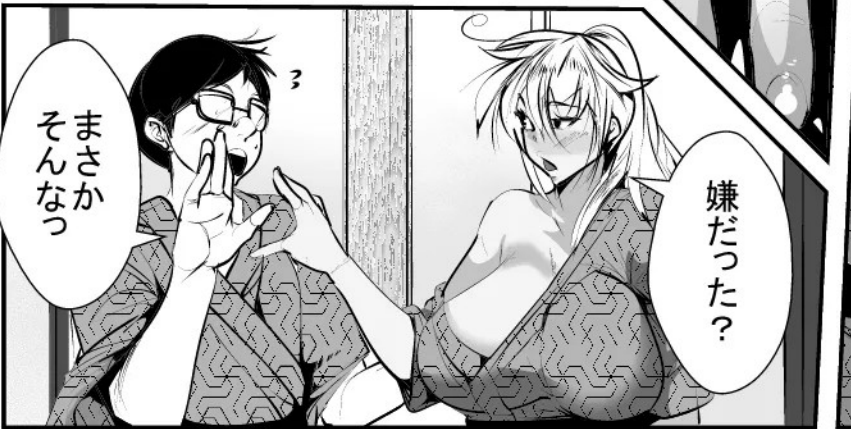


ははごめんね
酔っ払いの
相手させちゃって

いやいや...
ボクも楽しいですし...っ

あらほんとう

ゆさんっ







は…はあ
ふあ

ねえ…アタシのあそ…
触ってみて…っ



ふふ…キス
気持ちよかったねっ

ゆさっ



はあ…んっ

う…うん



ふん

ふん

ふん



ん…んんっ

ふう…



いっ

ふあっ

あ…ああんっ

くわ
びん



達夫くん…

そ…その…



私は…達夫くんのこと
かわいいうっていうか…
好き…なんだけど…

達夫くんは…
その…私の事…

ぼ…僕は…

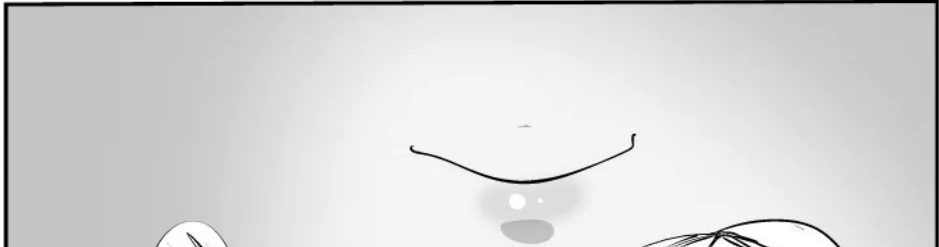


こんなボクにも
優しくしてくれるし…

好きになる要素しか
ないっていうか…っ



大好きですよ
おばさんのこと…



ありがと…っ

今度からは
おばさんじゃなくて…
美里って呼んで

んん…んっ

ぐっ
すっ

おん

おん



あゝ♡あゝ

みん

みん!!

うん...うん...うん

ん

ん

ん

ん

ん

おん

あゝ♡あゝ

あゝ♡あゝ



ほあ…♡

あ…♡

必死におっぱい吸って…
かわいいいっつ

ちよつとぶきつちよだけど
頑張ってる所が…
ほんといっつ

あんっ

み…美里さん
美里さんっつ



やっぱ若いとおちん○んがちがちでさい……じつ

気持ちいい……何年ぶりだろ……こんなに……激しく求められるのなんて

あん……あ……

ほみ……美里さん……ボクもう

う……うん……いいよっ

……

……

ごぼごぼ





んんん!!

んんん!!

んんん!!

美里...さんっ

.....

んんん!!

んんん!!

んんん!!

んんん!!



す：すいません
美里さん
見たら綺麗すぎて
ムラムラが…



あ：あの
すいませんっ

ふあっ

あはっ



あはっ



はあ…
は



それじゃ…
お互いスッキリするまで

おちんちん

あは

あは

あは

ぬる



み：
美里さん

あんっ

二人で
ぐっちやぐちやに
なっちやおうか



僕はこんなに…
美里さんを…
喜ばせることが
出来るんだっ

うあ…ああ
達夫くん…
じよっ…ずっっっ

はん!

はん!

はん!

はん!

あは…それ
いい…
もつと

いっばい
ずぼずぼおって

はあ…い…い…
アタシ…もう
ムリいく…っ
いくうっ

はん!

はん!

はん!

はん!

はん!

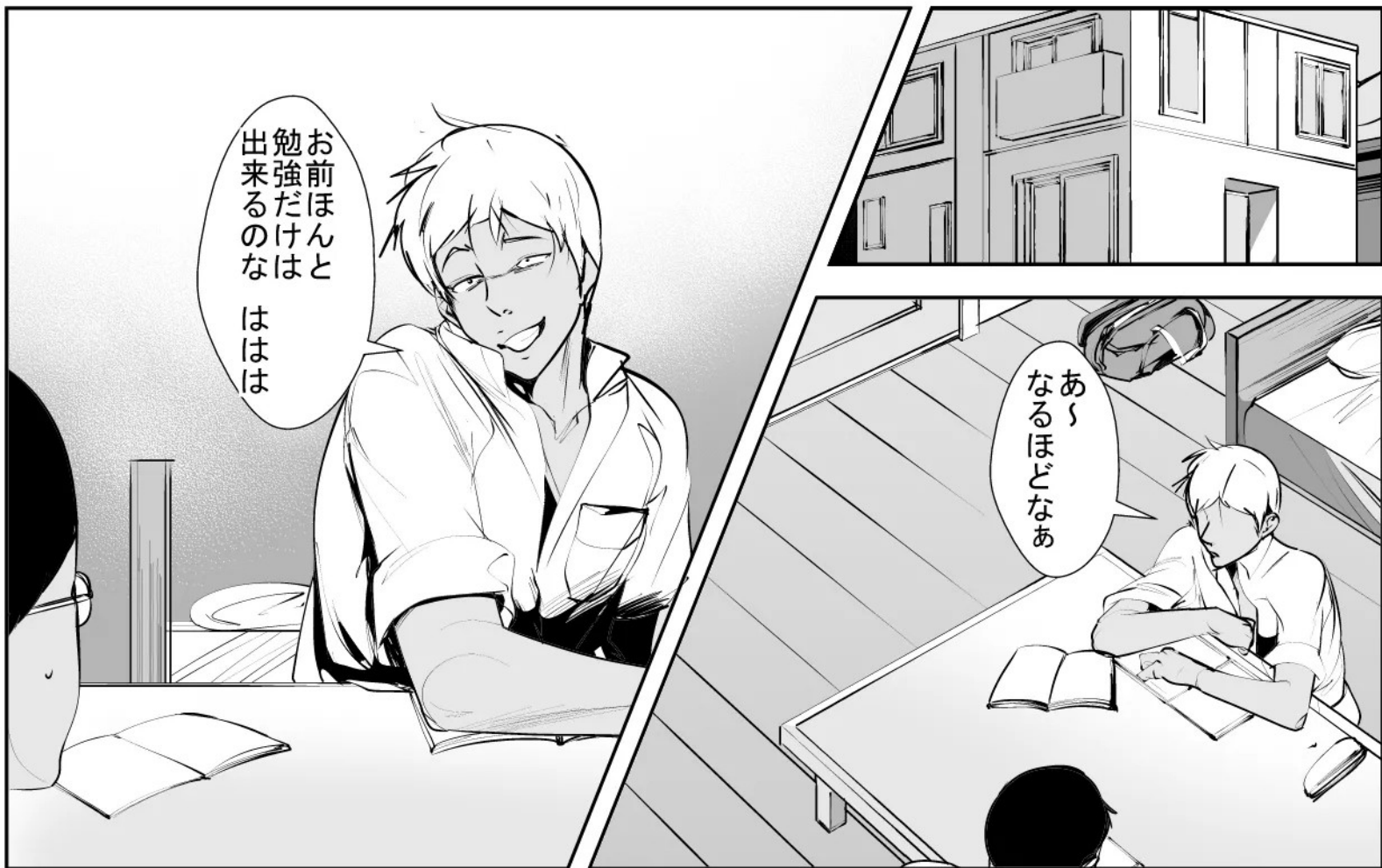
はん!

はん!



その後：僕たちは
明け方まで
ひたすら交わり続け：

お互い動けなくなるまで
ひたすら体を
ぶつけあつた



お前ほんと
勉強だけは
出来るのな
ははは

あ
なるほどなあ



僕のほうが



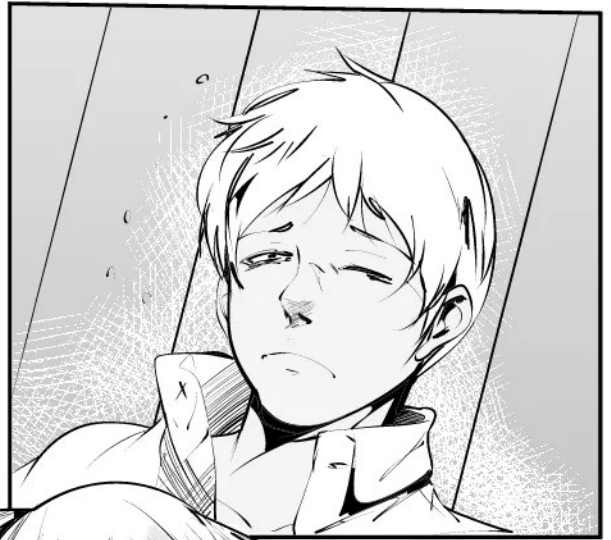


最近じゃすっかり
美里さんの
弱い所も
分かってきた



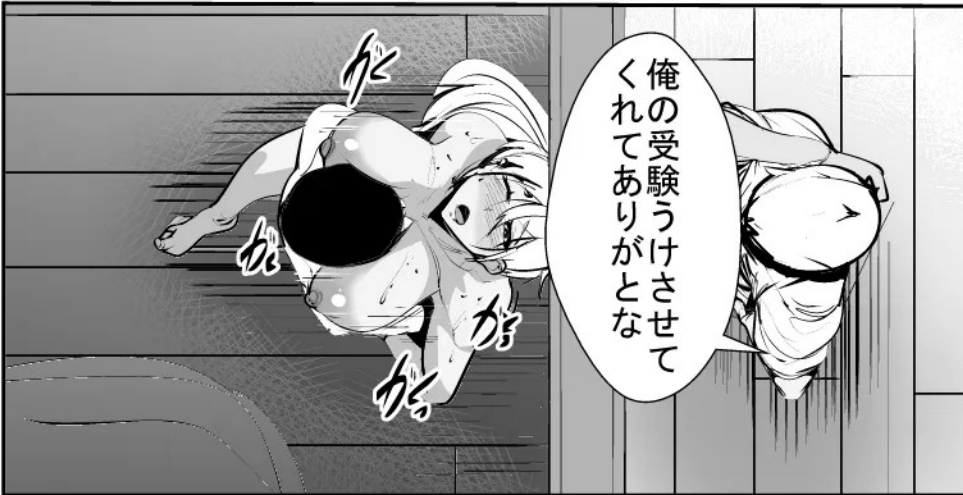
あんなに...
あんなに...
あんなに...

あんな...
そ...そ...おっ





あのお母さん



俺の受験うけさせて
くれてありがとな



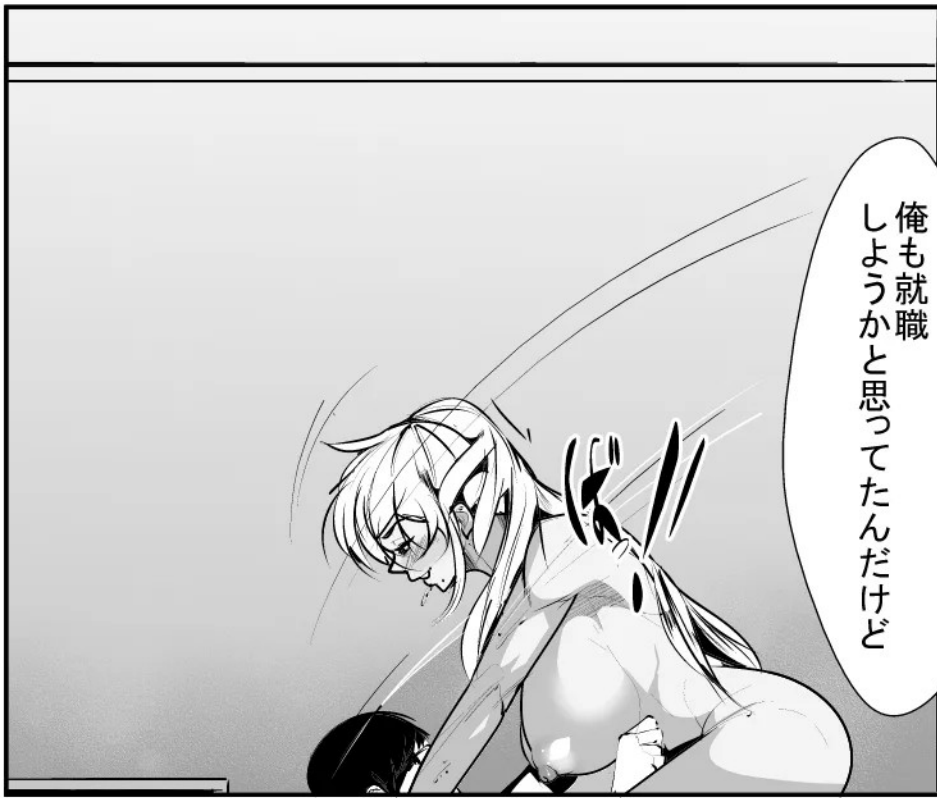
だ...だめ
聞こえ
ちやうって

あんっ



ちよ...ちよつと
達夫くんっ

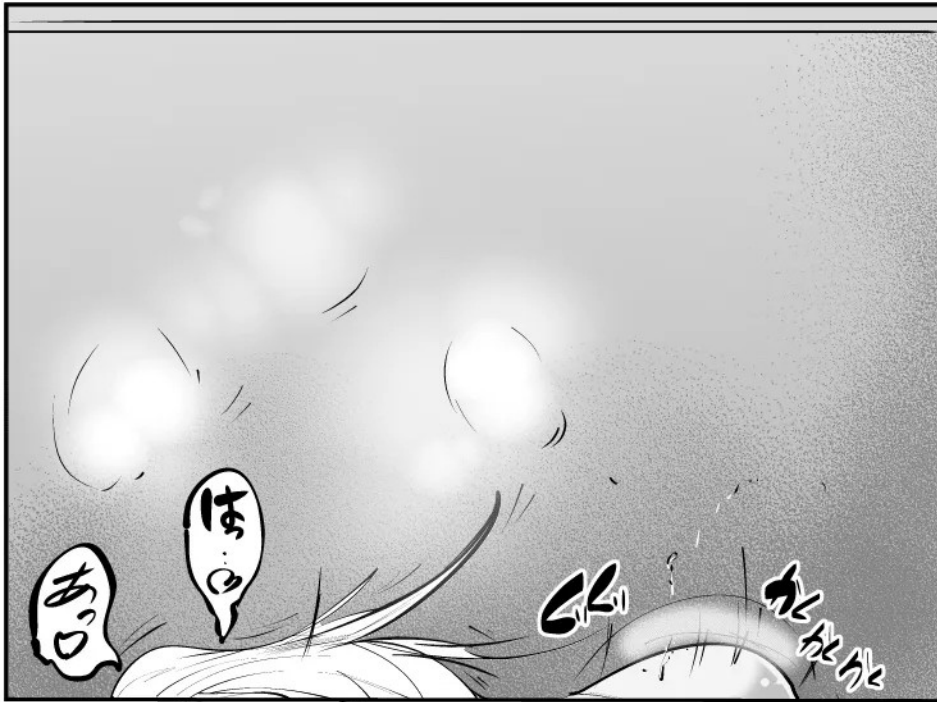
すこし...
休憩



俺も就職
しようかと思っただけ



ウチも家計が苦しいのは
分かってるからさ



俺
勉強頑張るからよ

大学出れば
結構良い所に
入れるみたいだし



そ…そんな
また後でな

だ…駄目だ
危なかったあつ
篤志にバレる所だったけど



でめい



達夫くんとのエッチ
気持ちよすぎて…
やめられないっつ





いっぱい
達夫くんのを

いっぱいよっ
アタシのナカにっ



美里さん...
そろそろイキますよ

う...う...う...



出しちゃってええっ

いっぱい
アタシのナカにっ

びしょ!!

んぐんぐん

ううう...あつ

が

が

が

き...きたあ
達夫くんのきもち...い
せうしが...びゅびゅってえつ

びゅびゅ

びゅびゅ

とっ!!

とっ!!

き...気持ち
よかったあ

あつ



最初はなんで
こんなムカつく奴に
協力しなきゃいけないんだ
って思ってたけど



今じゃ
感謝してるよ



う…うん

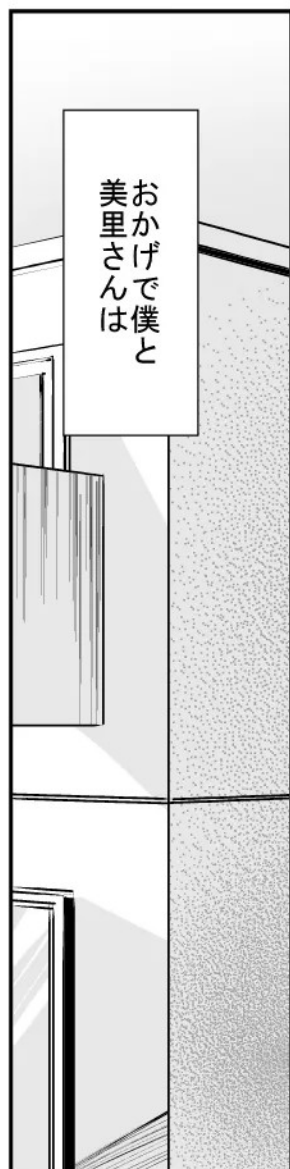
おい 今もウチ来て
勉強教えるよ



君じゃ絶対に
繋がれない深い場所で



おかげで僕と
美里さんは



男と女として
繋がれるようになったんだから

